

## 神拝校区タウンミーティング開催報告

【日 時】令和5年2月2日（木）19：00～20：30 【場 所】神拝公民館 2階ホール

【参加者】神拝校区連合自治会長など全9人

市長、公民館長、経営戦略部長、SDGs推進室長

【次 第】1 開会 2 挨拶（神拝校区連合自治会長）

3 市長挨拶・事業説明（別添資料）

4 事業説明：テーマ「私たちにできるSDGsの取り組み」

5 まとめ・閉会

### 概 要

#### 【連合自治会長挨拶】

コロナ禍であったが、12月に「光と音のファンタジー」のイベントを開催できたのは公民館と協力委員の皆さんのおかげである。今日の話し合いにおいても、公民館協力委員の中心に集まっていたいただいた。

#### 【テーマ提起の経緯】

人口減少に伴って出てくる課題に対して、早いうちから取り組んでいきたいと考えている。市が取り組んでいるSDGsについて理解し、自分達地域団体に何が出来るか、みんなで考えて取り組むことが地域課題の解決の糸口になるのではと考えている。

### 事業説明：SDGsとは？

#### ◆SDGsとは

- ・2015年9月に採択された持続可能な開発目標のこと。
- ・2030年を達成年限とし、17の目標（ゴール）と169のターゲット（具体的目標）から構成
- ・SDGsのロゴのカラーには17色あり、1つ1つの目標ごとにカラーが異なっている。

#### ◆ロゴマーク…本質を見ることが大切。

- ・上段…基本的人権や生活水準。
- ・中段…企業等における経済活動。
- ・下段…地球環境に対する取組とゴール達成のため、平和とパートナーシップの必要性を表している。

- ・例えば「14 海の豊かさを守ろう」には、実は海洋ごみなどで海の汚染を減らすことや、魚を増やすために漁獲量を制限するといったことが含まれる。



#### ◆取り組む背景

- ・今、地方自治体は、経済・環境・社会面で多くの課題を抱えている。どれかの分野に力を入れすぎると他の分野において問題が起こり、生活のバランスが崩れてくる。更に人口減少も相まって、様々な地域課題が増加してきた。
- ・地域の持続化に向けた底力が試されている中、西条市をよりよくする営みこそがまさにSDGsであり、将来を担う子ども達が西条市に住み続けられるように考え行動していこう。

#### ◆コンセプト「いっしょにやるや ちよつとずつ」

聞き慣れない単語が多く、難しく感じるかもしれないが、SDGsは特別なことではない。身近な暮らしの中で、節水や節電、エコバックを使うなど皆さんが既に取り組んでいることがほとんどである。これからもずっと住みやすく、幸せな西条市であるために、SDGsの視点（持続可能かどうか）を意識して、一人ひとりが小さなことから始めてほしい。

#### ◆カードゲーム「2030 SDGs」

- ・「なぜSDGsが私たちの世界に必要なのか」、「それがあることによってどんな変化や可能性があるのか」を体験的に理解するためのゲーム。
- ・2030年のゴール（経済・環境・社会の三側面の同時達成）に向けて時間とお金を使い、プロジェクト活動に取り組むという内容。楽しみながらSDGsの本質を理解することができ、神拝公民館も含め、今年度はこれまでに17回実施した。
- ・三側面に「人口」の指標も加えた「地方創生」版のカードゲームもある。

<p>◆LOVE SAIJOプラットフォームアプリ「prairie（プレーリー）」  西条市SDGsの取り組みや貢献度を可視化（SDGsメーター）し、SDGs活動に参加するともらえる西条市の地域ポイント（LOVESAIJOポイント）の取引に利用できるアプリ。  誰でもダウンロード可能なので「持続可能なまち西条」の実現をめざして小さなことや簡単なことから始めるきっかけとしてほしい。</p>	
参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
<b>活動の持続性（自治会）</b>	
<p>自治会加入促進のため、のぼり旗を作成し、ごみステーションや地域内の目立つ場所に設置している。  また、市道沿いの花壇への植え付けなど、身近なことから地域へ貢献している。</p> <p>コロナ禍で人が集まるのが難しくなり、夏の盆踊りを継承することが難しくなってきた。そこで、12月に「光と音のファンタジー」というイベントを初開催した。  地元の方が企画する楽しい行事を通じて、子ども達に神拝が好きという気持ちになってもらえれば嬉しい。</p>	<p>静かなる危機とも言われている人口減少が様々なことを蝕んできて、担い手不足・役員の固定化という問題になっている。  神拝校区の自治会加入率は50%を下回っているが、危機感を持って自治会の取り組みをPRしていると感じている。  こういったことが文化の継承にもつながるのだろうと思う。</p>
<b>活動の持続性（高齢者クラブ）</b>	
<p>高齢者数は増加しているのに、老人クラブの会員数は減少している。  会員募集のために「高齢者クラブ」と改名した。活動自体にも魅力が必要なので、清掃活動や健康推進に関する活動を広げて仲間を増やす必要があると考えている。</p>	<p>「魅力」という言葉があったが、活動する皆さんが楽しくやっている雰囲気こそが魅力だと思う。規模の大きい神拝からぜひ盛り上げていただきたい。</p>
<b>活動の持続性（婦人会）</b>	
<p>会員の高齢化により、解散を考えている地区もあると聞く。  神拝婦人は無理のない範囲で、みんなが楽しめる会でありたいと思うが、市からは活動内容について制限されることが多く、活動しづらい。  市はもっと婦人のことに力を入れてほしい。会員増加ための努力してほしい。</p>	<p>校区内で各種団体が横につながり、活動を整理したり、負担を補い合うような方法を考えている地域もある。敬老会のやり方を変えたような例もある。</p>
<b>活動の持続性（社会福祉協議会・民生委員）</b>	
<p>民生委員と社会福祉協議会は地域福祉の両輪という形で活動しているが、民生委員の確保に苦労している。  高齢者の見守り推進員も同様の課題を抱えているが、今後の見守り活動はSDGs推進協議会と連携し、企業等からの協力を得て、進めていくようだ。</p>	<p>見守りについては対象者も増えてきているところだが、令和5年度から見守り内容の区分設定を行い、新しい形を進めていく。</p>
<b>活動の持続性（人権教育を進める会）</b>	
<p>我々のようなりタイアした年代が運営に携わっており、20～40歳代の人がない。  活動への参加者もほぼ固定しており、様々な年代の人がいれば多くの意見も出そうだが、なかなか難しい。</p>	<p>人権文化のまちづくりを推進している中で、より一層あらゆる世代へ輪を広げていく必要がある。関心を持ってもらうための声掛けの方法は非常に重要だ。</p>
<b>ごみ減量に向けた意識付け</b>	
<p>小学校PTAからの提案で、ペットボトルや空き缶の一人1個運動を始めた。  小学1年生でも再生利用可能なものを捨てられるような環境づくりを検討していただきたい。</p>	<p>ペットボトルのキャップを破碎し、圧縮してベンチにするという試みの可能性も見えてきた。  例えば、小学生が集めたペットボトルのキャップが地域の皆さんが利用するベンチになるように、企業と密着させたい。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
<p><b>会合の存続</b></p>	
<p>コロナ禍になり3年間、多くの行事ができなかったけれど、必要な事業とそうでない事業がはっきりとわかった。 SDGsの「本質をみる」という概念を持って改めて考えると、思いのある事業はコロナ禍でもしっかり続けている。 会合においても、会の名称こそ異なれど、同じような内容を同じメンバーで集まって話し合うことは、見直したほうがよいと思う。</p>	<p>事業の見直しや削ることなどの棚卸も大切。この事業は何のために必要かという意思統一を校区単位で行い、重複するものはスリム化するなど役員の負担軽減を図ってほしい。</p>
<p><b>【まとめ】</b></p>	
<p>&lt;市長&gt; 本日は消化不良の部分もあったかもしれないが、西条市は広報広聴に力を入れている。神拝地区に住んでよかったと言う人が一人でも多く増えるように、今後もチャレンジしていきたい。各団体とお話することもできるので皆さんのご意見も聴かせてほしい。</p>	
<p>&lt;連合自治会長&gt; 連合自治会はSDGsの考えも踏まえ、地域のコミュニケーションの場を提供しながら神拝校区を盛り上げていきたい。みなさんご協力よろしくお願いいたします。</p>	
<p>&lt;当日の様子&gt;</p>	

